

## 道徳学習指導案(低学年用)

1. 主題名                    だいじなたまご

2. 資料                    「つなみのひ」      (紙芝居)

この資料は、主人公がもらえるのを心待ちにしていた卵をやっともらえたのに、帰る途中で友達とぶつかって割れてしまったことから友情について考えさせるものである。

割れた卵を見て一時は悲しんだり友達を怨んだりするが、母親が上手に炒り卵にしてくれたことで、家族で味わうことができ、みんなに感謝されて食事をとることができた。その後、落ち着いて自分の行動や友達の行動を振り返り、友達の行為についてもわざとじゃないことに気が付き、友情について深く考え、友達のよさに気がつくことで、これからも友達として助け合っていこうとする心情が伝わってくる資料である。

### 3. 学習指導要領との関連(主題設定の理由)

#### (1) ねらいとする価値について

低学年では、まだ自己中心性が強いこともあり、また自分の思いを相手の思いや立場を考えずにぶつけることもある。そのためけんかになってしまうことが多いが、友達同士相互に信頼し合おうとする心の働きがないとよい人間関係は築けない。

この時期に相手の立場や思いを考えながら行動することは難しいことだが、どのような時でも思いやりをもって相手に接することはこの価値を実現するうえでの入り口である。困っている友達がいれば手助けしたり、泣いている子がいれば「どうしたの」と尋ねてあげたりするなど思わず手助けせずにはいられない心情を培うことが大切である。

そのためには、手助けした相手が喜ぶ様子を見て自分の喜びとしたり、友達の頑張りに声援を送ってその頑張りとともに喜びあう気持ちを育てていくことが求められる。日ごろから、友達を大切にし、思いやりをもって互いに助け合おうとする心情を養うことを大切にしたい。

#### (2) 児童の実態 (略)

#### (3) 資料について

本資料は、やっともらえた卵を帰る途中で思わず友達とぶつかったことで割られてしまい、初めはその出来事を悲しみ友達を怨むが、母親の助言でわざとではないことに気がつき、大切な友達をいつまでも大事にしようとする主人公の心情の移り変わりがよく読み取れる作品である。

ここでは、主人公の心の動きに沿いながら、割れた卵を前にして落ち込むと同時に友達に対する怒りを顕わにしている姿に共感させながら、わざとではないことに気が付いていく主人公の心情を感じ取らせ、友達と仲良くし、思いやりをもって助け合うことが友情関係を築く上で大切なものであることに気づかせたい。一般化の段階では、日常的な友達とのトラブルを思い出させながら友達と仲良くしていこうとする主体的な実践へとつなげていきたい。

資料を扱う上では、表面的な価値の把握で終わることなく、自我関与させたより深まりのある価値を追求するのに適した資料である。

### 3. 本時の展開

- (1) ねらい 友達と仲良くし、助け合おうとする心情を養う。  
 (2) 展開案主な発問と予想される児童の反応指導上の留意点

	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	<p>1. 友達に優しくされた経験を思い出す。</p> <p>○友達に優しくされたことはあるか。それはどんなときか。どんな気持ちになったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れ物をして困っていたときに、貸してもらってうれしかった。</li> <li>・友達とけんかしたときに、先に謝ってくれた。とてもうれしかった。</li> </ul>	<p>友達に優しくされてうれしかった経験を想起することで、ねらいとする価値への方向付けをする。(その時の心情を大切に)</p>
展開	<p>2. 紙芝居「だいじなたまご」を聞いて話し合う。</p> <p>①ある日の帰り、先生からチャポの卵をもらい、そうっとポケットに入れた時どんな気持ちだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待っていたかいがあつた、うれしい。</li> <li>・うれしい、家族と一緒に食べたい。</li> </ul> <p>②卵が割れていることに気がついたときどんな気持ちになったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしよう、困った。ショックだ。</li> </ul> <p>③家に帰ってお母さんに卵を見せた時、どんな気持ちだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しんちゃんが悪い、絶対許さない。</li> </ul> <p>④ご飯のあとお母さんからどうして卵が割れちゃったのかと尋ねられてどんなことを考えたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しんちゃんが悪い、絶対許さない。</li> <li>・しんちゃんがぶつかってきたから。</li> <li>・卵を持っているのを知らなかったんだ。</li> <li>・わざとぶつかったんじゃないんだ。</li> </ul> <p>⑤次の朝、元気にしんちゃんにあいさつしたたっくんはどんな気持ちだったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・僕をわかってくれる友達っていいな。</li> </ul>	<p>紙芝居は、全部終わってから振り返って発問するとよい。(学級の実態に応じて工夫する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●長いこと楽しみに待っていたことを押さえる。</li> <li>●帰宅するまでの主人公の心情の変化をとらえさせる。</li> <li>●母親にしがみついて悲しみを訴えている姿からその心情に共感させ色々な気持ちを引き出す</li> <li>●自分が普段から抱えている友情に関する価値観を出させるようにする。わざとじゃないことに気づく過程を大切に扱い心情を発言に投影させる。</li> <li>●友情、おもいやりの価値に気づいた主人公に共感させる。</li> </ul>
	<p>3. 今までの生活を振り返り、友達や周りの人に優しくしてよかった経験を話し合う。</p> <p>○友達に優しくしてよかったと思ったのはどんなときか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の時にお見舞いに行ったから、今までよりも仲良くなった。</li> <li>・友達と一緒にやろうと誘うと楽しくなる。</li> <li>・忘れ物をして困っているとき貸してあげた。</li> </ul>	<p>資料の特定場面から離れて、日常生活から自分の友情、おもいやりへの価値観を振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活を振り返ることで自分の友情に関しての価値観をしっかりととらえる。</li> </ul>
終末	<p>4. 教師の節話を聞く。</p> <p>○友達と仲良く助け合って、本当にうれしかった経験を話す。</p>	<p>○友達と仲良く助け合うことは、互いに喜びを感じることを話す。</p>